

■ちまき作りに挑戦

元気サロン部長 吉井乃里子

半夏も近づいた6月18日、元気サロンでは下新宮の勝部和徳さんを講師に、ちまき作りを行いました。

初めに熊笹の捌き方や巻き方などについての説明を聞き作業に取りかかりました。「はだこ」と呼ばれる若葉に包んだだんごを3枚の葉で包むまでは順調でしたが、その後の手順ではやや苦戦する姿もみられ、講師は引っ張りだこでした。

各テーブルでは、お互いに教え合ったり、だんごが葉に付かない秘訣や各家庭での食べ方など話が弾んでいました。ちまき作りを通して、参加者同士の交流も深まったように思います。



■りんごちゃん教室

乳幼児部長 三谷裕美子

りんごちゃん教室は平成10年から始まった、未就園児の子と保護者を対象とした古志地区社会福祉協議会の活動です。年々対象者は減少していますが、出雲市社会福祉協議会のホームページなど地区外への声かけもしています。

今年度の活動として、七夕コンサートを行いました。そのコンサートに「よもぎちゃん」をお呼びしました。松江市・雲南市出身のピアノ弾き語りデュオで地域のイベントや保育施設、福祉施設、ライブハウスなどでオリジナル曲やカバー曲、童謡などを歌って活動中のママさん歌手です。

この七夕会には、地域の皆様も招待し、世代間交流をしながら、心地良い音楽を聴き、楽しいひと時をすごしました。

このコンサートを、りんごちゃんの親子は「楽しかった」と笑顔でした。そして何より楽しんでくれたのが招待した古志幼稚園の子どもたちでした。よもぎちゃんと一緒に歌ったり、元気いっぱいでした。

この日七夕の笹飾りに、それぞれ願い事をして飾りました。これからも地域ぐるみでの子育て応援をしていこうと思います。



■子ども福祉ボランティアの活動

青少年部長 高塚康代



今年度も青少年部では、「子ども福祉ボランティア」の会員募集を行い、6月15日に第1回目の活動を行いました。

古志地区にお住いの一人暮らしの高齢者（77才以上）の方にハガキを書きました。自分の好きなことや頑張っていることを教えてあげたり、おじいさん、おばあさんの好きなことや楽しみにしておられることを聞いたり、一生懸命ハガキを書きました。子ども達の思いが届けられたらと思っています。

今後は、おじいさん、おばあさんのお誕生プレゼントを作って届ける予定です。楽しみに待っていてください。

■ノルディックウォーキング

高齢者部長 横木行夫

6月5日、20名の方々のご参加により、2本のポールを使った歩行運動を行いました。

はじめに、徳連町内の船木幸雄様のご指導により、準備運動を行い、早速目的地の「しまね花の郷」をめざしてスタートしました。片道約2kmを、周りの人と話しながら、途中休憩をはさんで40分で到着しました。

花の郷館内では、「樹脂粘土展」が開催されており、樹脂粘土で細やかに表現された季節の花々や山野草が、沢山展示されていました。まるで本物の植物では？と見間違えるほどの出来栄で、たんぽぽやいちご、れんげ草など、手作り作品の数々に堪能しました。その後各々館内外の花木を、約一時間かけて鑑賞しました。

帰り道は、来た道と同じ歩道なので、より安心・安全に古志コミセンに到着できたと感じています。

終わりに、ポールの搬出入から歩行指導まで、お世話いただきました船木幸雄様に、心よりお礼申し上げます。有難うございました。



古志福祉だより

第 97 号

令和 7 年 7 月

古志地区社会福祉協議会

TEL 21-0925

FAX 21-1066

ふれあいと みんなが 笑顔の まちづくり

ごあいさつ

古志地区社会福祉協議会 会長 山根里司

向暑の候、皆様には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、私たちのまち古志でも少子高齢化が進む中、「核家族化」や「単身化」などにより、日常生活上の困りごとを抱える人も増えつつあります。地域で安心して暮らし続けるためには、地域住民等の主体的な見守り活動と、交流できる居場所づくり、生活支援活動などの取り組みの推進と社会との繋がりをつくっていくことが、ますます重要になっていくのではないのでしょうか。

今年度も「ふれあいと みんなが 笑顔のまちづくり」をめざして努力いたします。今後とも皆様のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



古志ひとめぐり～風薫る5月に～

■さくらんぼサロン部

部長 高橋悦子

毎月第2・4

月曜日午前

に開催す

る、さく

らんぼサ

ロンが4

月よりス

タートし

ました。今年

度も健康

体操や

小物づく

り、古志

幼稚園と

の交流会

また様々

な講師に

よる大事

なお話等

を計画し

ています。

5月26日

は、恒例

となった

ジャンボ

タクシー

に乗って

古志や近



5月26日は、恒例となったジャンボタクシーに乗って古志や近隣地区を巡るプチ遠足を楽しみました。10時にコミセンを出発。南に向けて走り、木立の中の坂を上って久奈子神社に到着。神戸川にかかる古志大橋とその向こうに出雲ドーム、見晴らしの良さに満足し、お参りをし、次は馬木不動尊へGO！ロマン街道沿いは、田植えの最中でゆっくりと左右を見ながら東へ進み、馬木大橋を右折。不動尊は久しぶりの方が多く、ここでも手を合わせ、帰りのコースは、出雲保健所の前を通り、古志大橋を渡ってコミセンへ11時に到着しました。

さくらんぼサロンでは、ゆったりとお話をしながら、スタッフも一緒になって行事を進めています。どうぞ、お気軽にいらしてください。

■B型サロン代表者会報告

地域福祉部長 槇原 茂

6月20日、古志地区のB型サロン代表者会が開かれました。B型は町内単位（町は3町内合同）のサロンで、現在8つのグループが活動しています。市社協の助成金を得ていることから、まずサロンに配分される経費について説明がありました。各サロンには会費があり、交通費をとまう企画などは参加費も必要になりますが、できるだけ少額に抑えられています。

また、代表者の方々からサロンの活動状況についても報告いただきました。普段の活動としては、月に1回、町内の集会所での交流が中心です。茶話会が定番ですが、スポーツやゲーム、見学や研修、体操や歌唱、講演会など独自の企画も取り入れておられます。会員数はそれぞれ10名前後で、年齢は60代から90代まで幅があります。「若手」の参加を歓迎したいとのことですので、興味をもたれた方はぜひ町内の代表者の方にお申し出ください。代表者がわからない場合、コミュニティセンターにお問い合わせください。

会議ではすまいる食堂や見守り支援活動に関しても貴重なご意見をいただきました。サロンの代表者の方々だけに話題も豊富で、なかなか雰囲気の中勉強になる時間となりました。ご出席いただいた皆さまに改めて感謝申し上げます。

